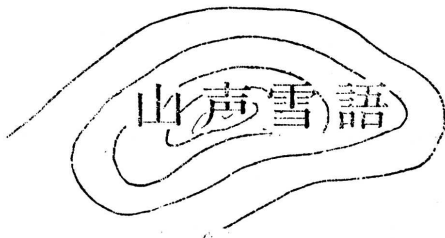


# 京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2516回★★ 九重山系 大船山 (ミヤマキリシマ)	6月1日(金) ~3日(日) 1日16:00 竹田駅西口集合 18:00大阪南港 フェリーターミナル集合	井戸 澄夫	1日 18:50大阪南港-(フェリー) 2日 別府港-(バス)-長者ヶ原...坊がつる...大船山...長者ヶ原-別府港-(フェリー) 3日 大阪南港
備考 参加申し込みは、5月10日に締め切りました。			
第2517回★ 岳連平成19年度 一斉清掃登山 天王山	6月2日(土) 8:45 山崎聖天下公園集合	方山 宗子	山崎聖天下公園...天王山
備考 参加申し込みは、前日までに担当者へ連絡してください。 大山崎町 天王山を守る会協賛です。			
第2518回★ 比良山系 堂満岳	6月23日(土) 8:00 京都駅3番ホーム 売店前集合	清水 康裕	JR比良駅...イン谷口...大山口... (正面谷)...青ガレ...金糞峠... 堂満岳...(堂満東稜道)...ノタノホリ...桜のコバ...JR比良駅
備考 参加申し込みは、前日までに担当者へ連絡してください。 地形図 「北小松」・「比良山」			

第2519回★★★★ 幌尻岳(2,052m) 新冠コースから	7月27日(金) ~30日(月)	吉田 武	1日目 伊丹空港-新千歳空 港-新冠/静内町(民泊) 2日目 民泊...奥新冠発電所 前ゲート...林道...幌尻湖...新 冠幌尻山荘
	① 静内町...新冠幌尻山荘 15km 7時間 ② 新冠幌尻山荘...幌尻岳...新冠幌尻山荘 8 km 8時間 ③ 新冠幌尻山荘...奥新冠発電所前ゲート 15km 6時間半	3日目 新冠幌尻山荘...幌尻 岳...新冠幌尻山荘 4日目 新冠幌尻山荘幌尻湖... 林道...奥新冠発電所前ゲート- 千歳空港-伊丹空港(夜着)	
備考 装備:シュラフ, 食器, 食料(6食分)が必要。費用:151,000円 参加希望者は, 6月集会までに担当者へ連絡してください。			
<b>今月の集会</b> 日時 6月11日(月) 18:30~ 場所 厚生会館 4F 大教室		<b>企画運営委員会</b> 日時 6月20日(水) 18:30~ 場所 厚生会館 4F 六角会議室	



今は緑が萌え、気候は良く、一番いい季節です。ただ、よい時は短く（短く感じる。休暇のようなもの）、沖縄地方から順々に梅雨です。

通勤では京都駅で近鉄から地下鉄に乗り換えているが、平日の朝に日帰り程度のリュックを背負い、山行きの高齢者の団体をよく見かけるようになりました。

山に行かれる方々は元気ですから、年齢は別にして高齢者と言われることに抵抗があるでしょうし、筆者もそう思うのですが、世間の分類では高齢者としか表現のしようがありません。

山岳人口は、バブル期のゴルフやスキー人口の減少と反比例するかのように高齢者を中心に増加しているようですが、若い世代、特に社会人の若者の山岳人口は減少の一途のように感じます。

さまざま理由はあるでしょうが、筆者は山に魅力がなくなったのではなく、社会情勢の厳しさから、日々の仕事で疲れてしまい、有給休暇も取りづらく、休日は疲れて寝るか、用事に当てているような状況によるものではと感じます。

企業も、職域のクラブに対しては“無駄”と言わんばかりの待遇となりつつあるのではないのでしょうか。

当山岳部も社会情勢とは無縁ではなく、クラブ運営は人員不足から厳しくなっていることは、前号からの引き続きとなりますが、知恵と協力による“和合”により運営していければと思います。

そろそろ夏山大会の白山登山計画（7月28、29日の予定）にかからねば。

(H. 19. 5. 21. 記 T. H.)

## 【第2513回例会】

### 井戸氏・佐々木氏・田村氏 退職記念登山（愛宕山）

清水 康 裕

4月28日。井戸氏、佐々木氏、田村氏の長年の労を讃えて退職記念登山を行った。

井戸氏は京交山岳部と同じ57歳であり、前山岳部長として京交山岳部の舵を取っていただいた。佐々木氏は60歳で、この頃は職務多忙であったので、あまり山行されてないらしいが、京交山岳部員としての年数はかなり長い。田村氏は59歳で、納山祭のときに車いっぱいの装備を持ってきて下さったり、縦走路のスタート地点からゴール地点への車の回送してくださったり、ここぞと言うときの縁の下の力持ちである。

9：15晴れ空のもと JR 保津峡駅を出発する。最初、少し急登する。本日のコースはツツジケ尾根と呼ばれるが、山ツツジはもうしぼんでいた。坂田さんからタカノツメの葉は三つ葉で、コシアブラは五つ葉だと教えてもらった。両方よく似ている。ツツジケ尾根はタカノツメが生え、表山道はコシアブラが生えているそうである。気がつけば41歳の僕が本日の参加者中最年少者であった。参加者中

最年長である坂井さんはもうすぐ83歳になられ、僕の倍以上の歳になるのが分かり非常に驚いた。表参道との合流点手前までくると、再度急登した。

いつも閉まっている下の社務所前で一時小さい氷が降った。12:00に本社下の待合所に着いた。小氷が雨に変わったのでセレモニーを待合所の中で行うことにした。エッセンは義弘さんがシェフになり、松田さんと堀田さんと僕がその手先となって準備する間、他の参加者は飲食を始めてもらった。マグロの刺身、焼きビーフン・タケノコ・シイタケ・ニンジンなどの炒め物というご馳走である。ご馳走を配ったあと、挨拶、記念品授与、乾杯、色紙記入、記念撮影といったセレモニーを行った。お3人から京交山岳部に対して多額の寄付を頂戴した。

セレモニー直後14:30頃、その場で解散し、それぞれ表参道へ、高雄の神護寺へ、往路下山へと分れていった。山中初の大役が済みホッとして、後片付けのときに日本酒をたくさん飲ませてもらったので、ほろ酔い気分で下山した。下山中は雨が止んでいて良かった。

お3人共これをきっかけに山行を増やし健康増進に励まれ、いつまでも若々しく生きられることを祈念するとともに、京交山岳部への変わらぬご支援もお願いするものである。

### 井戸澄夫様・佐々木敏雄様・田村正弘様退職記念登山

平成19年4月28日(土) 愛宕山

#### ・参加者(50音順)22名

荒田又之助, 井戸澄夫 F1, 大槻雅弘, 岡田茂久, 岡本義弘, 方山宗子, 小森 浩, 坂井久光, 坂田利春, 佐々木敏雄, 清水康裕, 竹田 勉, 田村正弘, 堀田 剛, 松田誠二, 三橋 勉, 森本清一, 山元誠一, 鷺見壽末子, 渡辺智生, 和田良一

#### ・記念品賛同者(50音順)29名

荒田又之助, 井上一夫, 大倉寛治郎, 大槻雅弘, 岡田茂久, 岡本義弘, 方山宗子, 国友 修, 河村 清, 小森 浩, 坂井久光, 坂田利春, 清水康裕, 台川敦美, 竹田 勉, 津田 實, 西尾直樹, 堀田 剛, 松浦健一, 松田誠二, 三橋 勉, 室谷和彦, 森本清一, 山岡昭弘, 山元誠一, 吉田 武, 鷺見壽末子, 渡辺智生, 和田良一

## 感 謝 の 辞

井 戸 澄 夫

33年間の交通局勤務の内、27年間は山岳部で過ごしました。山岳部では日本や海外の山々を皆さんと一緒に登って、楽しい思い出がいっぱいあります。本当にありがとうございました。

これからも山岳部で例会に参加するだけでなく、個人的にも世界中の山々と美しい風景を求めて旅をしていきたいと思っております。これからもよろしくお願い申し上げます。

## 伊勢白猪山と伊勢神宮と朝熊山

井戸 澄夫

5月若葉の香る時期、伊勢の山々と伊勢神宮を併せて楽しんだ。白猪山は松阪市にあり、局ヶ岳、掘阪山とともに伊勢三山として知られている。もちろん干支の山として今年は注目を集めている山である。名神栗東から1号線で鈴鹿越えして亀山から伊勢道を利用すると、京都を出て約2時間で松阪IC、さらに登山口まで30分であった。第2名神高速が開通すればさらに早くなるであろう。阪内集落から林道をかなり奥まで行けるので楽である。登山口で昼食・休憩後登り始める。道はしっかりして歩きやすい。千年杉、夫婦杉と名づけられた巨大な杉の古木に感嘆しながら登ると、約1時間で山頂二等三角点(819.7)に着いてしまった。最年長で最強の森本大阿沙梨には極めて物足りない登山であったようである。山頂は開けて見晴らしがよく、伊勢の海や松阪の平野が見渡せる。また真近には局ヶ岳・掘阪山が迫る。山頂には新しい猪の大きな絵馬が立てられていた。往路下山し、本日のキャンプ地に向かう途中、伊勢市内のスーパーで食料を仕込む。伊勢ということで新鮮な刺身と松阪牛(?)を購入した。鳥羽の少し先の鏡浦の夏見リゾートというキャンプ場でテントを張り、晩餐となった。刺身も肉も大変旨かった。

翌朝は二見ヶ浦のご来迎を拝もうと4時15分に起床し、4時40分に出発した。しかし、残念ながら曇り空で日の出は見れず、代わりに地元の善男善女の入水修行を拝ませてもらった。駐車場横の水族館の屋外水槽で気持ちよさそうに泳ぐオットセイを見ながら、伊勢うどんの朝食をとった。朝食後、用事があるという渡辺氏、堀田氏を宇治山田駅まで送り、伊勢神宮(外宮)に向かった。早朝なので人も少なく、駐車場もすいていた。外宮参拝後、続いて内宮に向かった。内宮でも最も入り口に近い駐車場に車を止め、ゆっくりと参拝した。伊勢神宮を参拝し、いよいよ次の目的地朝熊山に向かう。朝熊山は内宮の奥から有料道路で30分ほど登ったところにある。朝熊山には1400年の歴史をもつ古刹金剛証寺がある。「お伊勢参らば朝熊(あさま)をかけよ、朝熊かけねば方参り」と言われるほど賑わったといわれる。戦前には麓からケーブルカーが通じていたが、軍部に鉄材を徴発されて撤去したという。京都の愛宕山にも同様の歴史がある。その後スカイライン(有料道路)が出来て車で登れるようになり、観光客が復活したという。山頂公園からの展望は、伊勢半島のリアス式海岸が見渡せて素晴らしい。山屋を悩ませるのが一等三角点を見つけにくいということである。最高点(555m)である八大龍王社から850mも西にあり、標高も478.01mと低いのである。我々も探しあぐねていたら、地元の老登山家が案内してくださり、やっと見つけることが出来た。伊勢犬をたくさん飼っている幽霊屋敷のような建物の横を通り、鉄塔の向かいの茂みを掻き分けて上ったところに天測点とともにある。老登山家に聞けば、このあたりが昔のケーブルカーの山上駅だったらしい。帰ってパソコンで検索すると、三角点を見つけられず撤退した記録が多数あり、少し優越感に浸れた。帰路、伊勢神宮の横を通ると駐車場の順番待ちの車で混雑しており、早起きはやはり得だと思った。伊勢市内には日帰り温泉施設がないので、津まで国道を走り天然温泉「スオミの湯」で汗を流し、久居ICから高速にのり往路と同じルートで帰還した。

【参加者】清水康裕、堀田 剛、森本清一、三橋 勉、渡辺智生、井戸澄夫

【コースタイム】5月12日(土) 9:00京都(烏丸御池、御陵、四ノ宮)ー京都東IC(名神)栗東ー亀山IC(伊勢道)松阪ICー阪内集落(林道) 11:45登山口(昼食) 12:15…千年杉…夫婦杉…13:10白猪山頂13:30…往路下山14:05ー勢和多気IC(伊勢道)伊勢ICー15:30イオン(買出し) 16:30ー

17：30キャンプ地（夏見リゾート）夕食－21：30就寝

5月13日（日） 4：15起床 4：40出発－5：00二見ヶ浦・夫婦岩（朝食）6：50－  
7：10近鉄 宇治山田駅－7：15外宮－7：50内宮－8：45朝熊山  
（金剛証寺，展望台，八大龍王社）－10：45一等三角点－12：15温  
泉・昼食13：35－久居 IC－帰路－15：30京都

## 【個人山行】

# 山氣違の原地へ再訪

坂井久光

4月30日，故御勢久右衛門氏の直弟子の小学校教員の本庄氏（名張市）と兼ねて打合わせがあり，小生が初めて今西錦司博士や故京交山岳部先輩の故伊藤潤治氏と御勢氏（昨年7月死亡）と共に今から約50年前の4月28日～30日頃にかけて池郷川の支流滑川の出合にあった山小屋山彦荘（火事で焼上）に宿泊し中八人山の登頂を目指した処へ，生きている内に訪ねて見度く，奈良県の山に詳しい本庄氏に電話したところ，快諾を得たので9時橿原神宮駅中央口で待合せして，彼の愛車で出発，国道169号で伯母峰峠のトンネルを越え，落石事故で不通ヶ所も一方通行になっており，満開の八重桜を眺めて北山川を下り前鬼川出合を経て池原ダムの池原から，石ヤ塔の標識のある舗装林道に入り，南面の如き断崖の露岩石ヤ塔で駐車写真に撮る。昔滑川出合の山彦荘への道は八丁坂やコムリ岩，不動尊，八丁河原等の名勝があったが，林道が出来てから利用者がなくなり，本庄氏も知らないと言ふ。間もなくゲートに着き，3台の車が駐車してあった。此処から峠の白子又の白谷との鞍部へ目指し9.5kmの地道の林道を歩く。

林道は谷を高巻き山腹を右岸の中腹を徐々に高度を稼いで峠に向っていた。昭和50年頃昭文社の地図に林道が完成したと仲西政一郎氏が書かれていたので，十二支会員の山県さんの車で行ったところ，峠の手前で工事中だったことがあった。山県さんは私の溪流釣の弟子で翠壘の釣号を与へた。下流の山桜は花も散っていたが，上流に行くにつれ満開の桜が多くなり，ミヅメ（梓）もあった。10時頃ゲートを出発して，12時半頃漸く峠に着き100m右の持経の宿小屋に行き昼食休憩した。

玉岡さんの偉大な業績を二人で讃え，利用者ノートに12月に来られたことが判った。

13時過ぎに出発して14：30頃ゲートに着き，上北山村と伯母峰の途中のトンネルを過ぎた処で本庄さんの友人を見付け，同乗させ2km程戻って彼の車の駐車地へ，釣りに来て尺物の山女魚を釣ったとか，昔御勢，今西さん等と沢で，釣った事が思い出された。池原に着いてから，本庄さんの知合いで元猟師の家を訪ねて，滑川出合を聞いた。今の地図には谷名がのっていないからである。彼はゲートの支尾根に小道があり下ると滑川出合で，地図の本谷出合とのことを聞いた。16：30頃，橿原神宮駅に着き再会を期して案内を感謝して別れた。

帰途三山木の岡本氏を訪れ，夕食を御馳走になり御土産に竹の子を頂いて帰宅した。

因みに峠は芦廻瀬川の支流白谷との最低鞍部で平治の宿へ2kmの標示がしてあった。

# 部 員 動 静

目 的 地	月 日	参 加 者	記 事
音羽山～岩間山	5月3日	清水 康裕	<p>「音羽の峰にかかる雲 雲は流れる美しく そこに学べる子らは今 強く正しく進み行く……♪」というのが、我が母校のひとつである音羽小学校の校歌である。晴天であったので、適応遠足で何度も登った音羽山へ無性に行きたくなった。その割には、準備にもたつき出遅れた。</p> <p>山頂に立つと比叡山がよく見えていた。その間の山が、ほとんど音羽山より低いことがわかって驚いた。体調が良かったので、岩間山まで東海自然歩道を歩いた。途中、千頭岳山頂が東海自然歩道から少しそれ、その位置はわかりにくかった。結局、京都市環境局所管の土地との境界フェンス沿いに右へかなり巻いて行けば、京都国際ゴルフ場付近で、2本の高圧電線が交差する場所に紅白の支柱で構成された鉄塔の足元にある千頭岳山頂になんとか辿り着いた。そこまでの標識は大変小さくて目立たない。</p> <p>本当は、今年僕は本厄年なので、山中ばかりで立木観音まで行きたかったが、道がそこまで続いてない。どうしても一旦麓まで下りて民家の中を歩かなければならないことがわかって、非常にがっかりした。将来、立木観音付近を調べて、立木観音～音羽山～大谷縦走か、立木観音～醍醐山縦走を例会として企画したい。</p> <p>9：50自宅出発…10：10鎌研ぎ橋…11：20パノラマ台…11：40音羽山山頂 三等三角点593.4m…13：15千頭岳山頂 二等三角点602.0m…15：40岩間山山頂443m…17：50南郷洗堰…19：05京阪石山寺駅</p> <p>2.5万図「京都東南部」,「瀬田」,「朝宮」</p>
京大芦生演習林	5月9日 晴	大槻 雅弘	<p>ブナノ木峠から10時間程歩く。</p> <p>地蔵峠からは入山禁止になっているが、三国峠からは可能。</p> <p>美山町からバスで登山ガイドと一緒に来ているようである。</p>

# 例 会 報 告

例会No.	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
2513	退職記念登山 愛宕山  井戸 澄夫 佐々木敏雄 田村 正弘	4月28日	晴	清水 康裕 堀田 剛	(50音順)	(別稿詳報)
		荒田又之助, 井戸澄夫 F 1, 大槻 雅弘, 岡田 茂久, 岡本 義弘, 方山 宗子, 小森 浩, 坂井 久光, 坂田 利春, 佐々木敏雄, 清水 康裕, 竹田 勉, 田村 正弘, 堀田 剛, 松田 誠二, 三橋 勉, 森本 清一, 山元 誠一, 鷺見壽末子, 渡辺 智生, 和田 良一				
2514	伊勢 白猪山 (820m)	5月12日 ~13日	晴	井戸 澄夫	渡辺 智生 森本 清一 三橋 勉 清水 康裕 堀田 剛	(別稿詳報)



# 雑 報

## △△△ 5月の集会

日 時 5月10日(木) 18:30～  
場 所 厚生会館 4F 大教室  
出席者 井戸, 吉田, 大倉, 大槻, 岡田, 坂井, 渡辺, 三橋, 清水, 堀田  
内 容 例会予告, 例会報告, 個人山行, 岳連関係報告ほか

## △△△ 4月の企画運営委員会

日 時 4月20日(金) 18:30～  
場 所 厚生会館 4F 六角会議室  
出席者 井戸, 吉田, 大倉, 方山, 三橋, 清水, 堀田  
内 容 例会予告, 岳連関係報告, ほか

## △△△ 他山岳部の会報(受贈分)

5月号 木雞, 北山, 比良山岳, 趣味の登山, わっぱ, 一等三角點, 青嶺

## △△△ 山岳連盟関係

6月3日(日) 京都府下一斉清掃登山  
6月16日(土) 軽登山・岩場の歩き方(金比羅)  
7月5日(木) 同上

## △△△ 平成19年度会費領収について

4月28日に次の方々から会費を領収しましたので報告します。  
森本清一, 津田 實

## △△△ 携帯電話アドレスのお知らせ

京交山岳部報の携帯電話用アドレスは次のとおりです。  
<http://www.eonet.ne.jp/~mmmm/kyoko/index.htm>  
京交山岳部報のパソコン用アドレスは次のとおりです。  
<http://kkmc.web6.jp/>